

政策 04 都市基盤に関する政策

施策 03 雨水対策の推進

あるべき姿

浸水・冠水箇所が減少し、市民への被害が軽減されます。

施策の成果状況と評価

指標	道路冠水箇所数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【道路課】	25	0	43	22
評価	<p>（状況）冠水（道路浸水）箇所数は、基準値（25件）と比較して、18件増加し、目標値を大幅に下回りました。</p> <p>（要因）令和元年東日本台風の記録的な大雨による計画雨量を遥かに超えた降雨によって市内いたる所で道路冠水が発生したことが挙げられます。ここ数年、大型台風の接近や局地的な集中的豪雨も増加しており、道路冠水箇所の解消を図るためには時間を要します。今後も、道路構造物の改修等により、冠水箇所の減少に努めます。</p>					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

指標	宅地など浸水箇所数（件）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対 基準値
		【道路課】	0	0	18	0
評価	<p>（状況）浸水（床下）箇所数は、18件で目標値を大幅に下回りました。</p> <p>（要因）令和元年東日本台風の記録的な大雨により道路排水能力や河川流下容量を上回ったことが挙げられます。今後も大型台風や昨今の集中的豪雨による浸水の恐れがあるため、国及び県への下流河川の改修などの働きかけをこれまでどおり続けていきます。</p>					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■ ■ ■ (---)

# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 雨水の流出抑制

指標	流出抑制量（5年間累計）（m <sup>3</sup> ）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【道路課】	19,325	23,799	24,790	20,000
評価	（状況）令和元年度の流出抑制量は5,350m <sup>3</sup> で、5年間の累計は24,790m <sup>3</sup> となり、目標値を達成しています。					対前年度
	（要因）前年度と同様に一定規模以上の開発件数があったことが挙げられます。今後も引き続き雨水流出抑制のための施設設置を指導していきます。					☀️ (向上)
						目標達成度 🏰 (達成)

## 基本事業02 排水施設の整備

指標	排水路整備延長（m）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【道路課】	4,076.3	1,297	1,226	4,000.0
評価	（状況）鴻巣市道路等整備箇所評価実施要綱に基づき、優先度により整備箇所を選定し、令和元年度は1,226mの整備を行いました。目標値を達成できませんでした。					対前年度
	（要因）限られた予算の中で排水路以外の整備に費用がかかったことが挙げられます。今後も排水機能の向上や維持のため整備を行っていきます。					☔️ (低下)
						目標達成度 ■ (低)

## 基本事業02 排水施設の整備

指標	排水施設の修繕割合（%）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【道路課】	75.9	79.1	73.5	80.0
評価	（状況）市民からの要望等に基づき修繕を実施（令和2年3月31日現在117件の要望の内86件の修繕を実施）しており、道路側溝及び水路の経年劣化の進行に対し修繕が追いつかず、基準値（75.9%）と比較して、2.4ポイント低下しました。					対前年度
	（要因）道路側溝及び水路の経年劣化の進行に対し修繕が追いついていないことが挙げられます。					☔️ (低下)
						目標達成度 ■ (中)

## 基本事業02 排水施設の整備

指標	調整池延べ容量（立方メートル）	基準値 (H27)	実績値 (H30)	実績値 (R01)	目標値 (R03)	対基準値
		【下水道課】	259,579	273,279	273,279	273,279
評価	（状況）調整池延べ容量は、基準値（259,579m <sup>3</sup> ）と比較して、13,700m <sup>3</sup> 増加しました。					対前年度
	（要因）北新宿第二土地区画整理事業地内の5号調整池の整備が完了したことが挙げられます。今後も計画的に施設整備を推進し、道路冠水や浸水被害の軽減を図ります。					☁️ (横ばい)
						目標達成度 🏰 (達成)

